

戦 評

大会名 日本スポーツマスターズ2008 岩手県予選会

男子・女子・準決勝 **決勝**

会場名: 滝沢東部体育館

主 審 : 小野寺 太

副 審 : 藤本充照

試合結果

<u>巖きたかみ</u>	2	$\left\{ \begin{array}{l} 21 - 9 \\ 21 - 12 \\ - \end{array} \right\}$	0	<u>盛岡サムタイム</u>
--------------	---	--	---	----------------

戦 評 試合時間 時間 40分

第1セット、両チームともオープン攻撃で点を取り合う展開となり、中盤まで競り合う。

巖きたかみは、小原の強烈なサーブで相手レシーブを崩し9連続得点で一気に引き離しそのままセットを先取する。

第2セット、巻き返しをはかりたい盛岡サムタイムは、必死のレシーブと北館・佐藤(浩)のオープン攻撃を中心に反撃を試みるがなかなか追いつけない。逆に確実なプレーで徐々に点差を広げられ最後は、巖きたかみ小原のレフトからのスパイクで粘る盛岡サムタイムを振り切り、巖きたかみが6連覇を達成した。

7～10行にまとめること。

戦 評 者 : 大 山 幸 司

岩手県バレーボール協会 広報委員会